

Ⅱ-1 お母さんのための子育て井戸端会議

♪エピソード♪

今日は日曜日。洋子さんと夫の弘さん、そして1歳の誕生日を迎えた拓也君の3人で少し遅めのお昼ご飯を食べています。

すると拓也君が、みそ汁をこぼし、ごはんを手で食べ始めました。

洋子：「あら、あら、たっ君だめでしょ。」

こぼれたみそ汁を片づけ、新しくみそ汁をよそいました
しばらくして再び、みそ汁をこぼしたたっ君

洋子：「(パチ)、こら、たっ君何してるの。もう本当に世話がやけるんだから。」

思わず、たっ君の手をたたいてしまった洋子さん

拓也：「えーん、えーん。」

泣きながら、たっ君は洋子さんの手をたたき返してきたのです

弘：「ママ、そんなにいっても、まだ小さいんだからいいじゃないか、なあたっくん。」



ワーク1 エピソードを読んで3人の気持ちを考えてみましょう。

○洋子さん（お母さん）の気持ち

○弘さん（お父さん）の気持ち

○拓也君（たっくん）の気持ち

ワーク2 あなただったら、再びみそ汁をこぼしてしまったたっ君にどう対応しますか。

ワーク3 子育てフリートーク

○テーマについて、グループで話し合みましょう。

資料 子どもを育てていて負担に思うことや悩み（複数回答）

自分の自由な時間が持てない	58.9
子育てによる身体の疲れが大きい	32.1
子育てで出費がかさむ	25.7
目が離せないのが気が休まらない	22.7
子どもが言うことを聞かない	21.9
仕事や家事が十分にできない	20
子どもを一時的に預けたいときに預け先がない	12
しつけのしかたが家庭内で一致していない	9.4
しつけのしかたがわからない	8.7
子どもの成長の度合いが気になる	7.1
配偶者が育児に参加してくれない	6.2
子どもについてまわりの目や評価が気になる	5.1
負担に思うことや悩みは特にない	13

第3回21世紀出生児縦断調査（子どもが2歳半の親46,897人対象）。回答が5%以上のもの。

いちばんすてきな本は、お父さん・お母さんの声で読む本だ。

親のぬくもりを感じながら優れた絵本に接し、一緒に共感し合うひとときは、子どもの感性や心を豊かにする貴重な時間になります。

食事の時間のように「本の時間」を設けるなど工夫して、少ない時間でもいいから毎日本を読み聞かせたり、親子で一緒に図書館へ行くなど、小さいころから本に親しむ環境づくりを心がけましょう。

ただし、早くから難しい本を読ませるのは子どもの心にストレスを与え、かえって本嫌いにさせかねないので、控えましょう。

平成17年「ドキドキ子育て 家庭教育手帳 乳幼児編」（文部科学省）

ふりかえり 今日参加してどう思いましたか。

Ⅱ-2 子どもの思い・大人の役割について考えてみましょう

子どもには子ども同士の、大人には大人同士のおつきあいがあります。昔は叱ったり叱ってもらったりの関係が地域社会の中にあり、多くの目で子どもを育てる環境にありました。

現在はこのような地域社会の関係は希薄になってきています。ここでは、自分の子どもだけでなく他の子どもに対しても、何が大切で、どのようにかかわっていたらよいのか話し合ってみましょう。

♪エピソード♪

幼稚園（保育園）がお休みのある日、年中組の仲良しの友達と園の近くの公園へお弁当を持って遊びに行きました。母親同士の話に花が咲き、あっという間に時間が過ぎていきました。

子ども達を見るとTVのヒーローごっこをしています。それぞれがなりたいヒーローになって走り回っていました。

しばらくすると、りゅうじ君が、他の子たちに囲まれています。どうやら悪者役になったようです。他のヒーロー役の子たちからパンチやキックの真似が飛びだしはじめました。子ども達は徐々にエスカレートし本当に体に当たっています。りゅうじ君は泣きそうになりながら「やめてよ」と言っています。

周りのお母さん達は見ているだけで誰も止めようとしません。りゅうじ君のお母さんは下を向いてしまいました。・・・



ワーク1 それぞれの気持ちを考えてみましょう。

○りゅうじ君の気持ち

○他の子（ヒーロー役）の気持ち

○りゅうじ君の母親の気持ち

○他の子の母親の気持ち

ワーク2 この後、あなたならどうしますか？ なぜそうしますか？ 考えてみましょう。

○りゅうじ君の親だったら

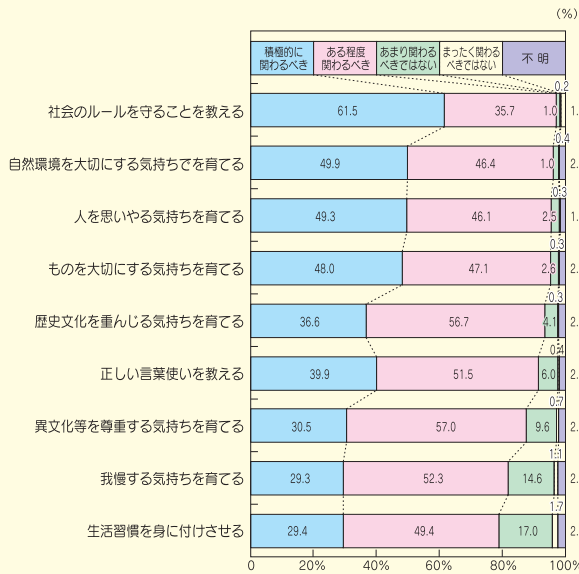
○他の子の親だったら

ワーク3 大人の役割として、どんなことがあるでしょうか。
ワークを振り返って話し合ってみましょう。
(自分や他人の子どもを叱る、怒る、伝えるなどを中心に考えてみましょう。)

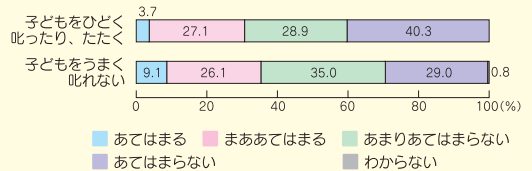


資料

子ども(小・中学生)を育てる上で地域が果たすべき役割(N=2,888)



子育てについての実感



(注) 小学4年生～中学3年生の子どもを持つ親2,266人を対象に調査

「低年齢少年の価値観等に関する調査の概要」
平成12年・総務庁(当時)「家庭教育手帳」より

平成18年「地域の教育力に関する実態調査」報告(文部科学省)

ふりかえり プログラムをとおしてどんなことに気づきましたか？

Ⅱ-3 子どものいいところを伸ばそう

♪エピソード♪

紀子さんの長女のまゆみちゃんは6歳。いつも元気で外で遊ぶことが大好きです。最近は大人のすることに興味を覚え何でもまねをしたがるようになってきました。

今日、紀子さんは庭にある花壇の草取りをしていました。そこに、さっきまで公園で遊んでいたまゆみちゃんが帰ってきました。

まゆみ：「何してるの、わたしも手伝いたいなー」

紀子：「ありがとう、じゃこのあたりの草を抜いてね。そうそう、この大きいのは花の苗だから絶対抜かないでね。」

まゆみ：「うん、分かったよ」

紀子：「まゆみが手伝ってくれるのでお母さんとても助かるわ。じゃ、まかせたわよ。」

と、紀子さんは、まゆみちゃんに草取りをまかせて家の中に入りました。

お母さんの励ましでまゆみちゃん、大ハッスル。

花壇のはしから次々と抜いては、きれいに集めています。

草だけでなく、花の苗もきれいに抜いてしまいました。

そして、ホースを引っ張ってきて水をまきはじめました。水たまりもできています。

紀子さんが用事をすませて、戻ってくると、水を勢いよくまきながら得意げに紀子さんに向かって、

まゆみ：「お母さん、全部終わったよ。他に何かやることない？」

服も靴も泥だらけです…

紀子：「ちょっとまゆみ、何やっているの!! 花の苗まで全部抜いちゃって!! 水まきなんて、頼んでいないでしょう、まったくもう! 服も靴もこんなに汚して! あなたに任せたのが間違いだったわ。」



ワーク1 最後の紀子さんの言葉を受けたまゆみちゃんの気持ちを考えてみましょう。
また、あなたが紀子さんだったら、まゆみちゃんにどんな言葉をかけますか？

○まゆみちゃんの気持ち

○あなたがまゆみちゃんにかける言葉

ワーク2 まゆみちゃんはどんな子なのでしょう？
いろいろな視点から考え、良いところを見つけてみましょう。

ワーク3 あなたにもエピソードのような経験はありますか？思い切って子どもに任せて、うまくいったこと、失敗したことなどについて話し合ってみましょう。



ワーク4 あなたのお子さんの良いところや、これから挑戦させてみたいことについて考えてみましょう。良いところを更に伸ばし、チャレンジを成功させるためにどんな応援をしてあげますか？考えてみましょう。

お子さんの良いところ、チャレンジさせたいこと	あなたの応援
.

ふりかえり プログラムをとおしてどんなことに気づきましたか？